

五島市で摂食・嚥下ケア研修会開催 五島市と協力

長崎大学歯学部は、平成24年に福島県相双保健福祉事務所と共同で作成した「支援者のための摂食・嚥下ケアハンドブック」を活用し、医療福祉保健関係者に向けた摂食・嚥下ケアの研修会を、五島市で4月25日と5月9日に開催しました。

2コースの研修会では、五島市地域包括支援センターと歯学部が協力して、介護職の方にもわかりやすく実習を盛り込んで楽しい研修会になるよう準備しました。口腔保健学分野の小山善哉助教のほか、地元五島市の摂食・嚥下ケアの専門職が講師を務めました。奈留島ほか五島市各所から93名が参加し、参加者からは「とてもわかりやすい研修会だった」と好評でした。

今後、600冊のハンドブックを五島市内の医療福祉保健施設すべてに配布して、摂食・嚥下ケアの五島市での浸透を目指します。



口腔保健学 齋藤教授による挨拶



会場は福江総合福祉保健センター



テーブルを囲んで 参加者同士も情報交換



講演する小山助教



作って食べてみよう！ 粥ゼリー実習



講師はテーブルをまわって実習をサポート